

令和8年度 第1回地域福祉推進会議 議事要旨

日時：令和8年6月25日（木）午後6時30分～8時

場所：西淀川区役所 5階 大会議室

推進委員：12名

助言者：大阪成蹊大学教育学部 准教授 鈴木 大介

区役所：松井保健福祉課長、梶保健福祉課長代理、瀬川保健福祉課担当係長、
大里保健福祉課担当係長

区社協：巽事務局長、安井地域支援担当係長、長谷川

1 開会あいさつ

委員長

2 令和8年度スケジュール

(1) 委員改選

- ・西淀川区地域福祉推進会議設置要綱 第3条3により、委員の任期は2年間のため令和8年8月末まで
- ・第3条2により委員定数を30名としている。達していないため公募を行う
- ・本日中に意向確認書の提出をいただくよう依頼した

(2) 広報動画上映・・・巽事務局長

地域社協委員長会 5月27日

ボランティアエキスポ 5月31日

大野百島地域高齢者食事サービス 6月10日

ホームページUP 6月24日

社会福祉施設連絡会 8月頃

- ↳ ボラエキではブース出展及びステージでの動画上映を行った
- ・社協委員長会後、早山委員長から依頼いただき、地域で上映及びプランの説明を行った

3 あい♡(あい) プラン振り返りについて

(1) 振り返り(評価)設定と今後のスケジュールについて

ア 全体評価

(ア) 事務局：基本目標に紐づく11項目の振り返りを実施

(項目) めざす姿／できていること／課題／今後していきたい

(イ) (ア)の振り返りに対する推進会議での意見共有

達成度(5段階)＋理由、グループワークで提案抽出

イ 区民：経時把握

認知度→関心度(知っている活動／関心ある活動)

ウ あいあいプラン関連イベントにおける意見聴取

例) イベントの満足度

エ 各部会の振り返り

部会活動を通じて感じる手ごたえ、課題

(2) 振り返りシートの枠組みについて

- ・基本目標ごとにシートを作成する
- ・各基本目標の具体的な取組み(例)ごとに「めざす姿」、「できていること」、「課題」、「今後していきたいこと」を設定し、振り返り(評価)をする

鈴木助言者「計画を進めることと、チェックする仕組みをつくることが大事。また、振り返り方法についても、ア～エと複数持つことが大事である」

委員長代理「具体的な取組みの例が多いのは、ガイドブックを参照しているため。今は試行中、入れてほしい項目等あれば、教えてほしい」

4 3部会、企画会議の現状報告

(1) ウェルカムバンク部会・・・A部会長

- ・言葉の問題等でコミュニケーションが取りづらい方に生活や福祉などの情報を届けている
- ・区内には65カ国(令和5年末)、約6,264名(令和6年12月末)の外国にルーツを持つ方が暮らしている
- ・コロナ禍、外国籍の方がどのように過ごしているかインタビューを実施した
 - ↳①日本語を学ぶ場が少ない
 - ②仲間で集える場が少ない

③未就学児の子育て情報が届いていない等

⇒インタビュー結果をもとに「にほんごカフェ」を開始した

- ・誰もがふらっと「立ち寄れる場」
- ・楽しく「にほんご」での「おしゃべり」の場
- ・「情報交換」のできるサロンのような雰囲気のある場
- ・月2回実施、七夕カフェ、お月見カフェ等、日本の季節の行事に関する交流会を実施している
- ・駅伝大会への出場、マレーシアの大学生との交流等、幅広い活動をととして参加者からの相談等に可能な範囲で対応している

(2)「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」部会・・・B部会長

- ・地域、施設・団体、区の行事・イベント等で、気軽に手伝う「ちょこっと♡助っ人」を募り、いきがいや活動の場を提供する取組み
- ・地域や施設等に、ちょっとしたお手伝いが求められているのかを実際に調査した
 - ↳活動先の一覧表を作成（令和3年11月）
 - ↳地域や施設のニーズに寄り添う取組み
- ・活動後ポイントが付与され、一定以上貯めると「ちょこ助チケット」と交換できる
- ・チケットは「にしよどマーケット」、「ふくふくカフェ」等で交換可能

【よいところ（成果）】

- ・ボランティア未経験者をはじめ、活動のきっかけになっている
- ・登録者は徐々に増加している
- ・「ちょこ助チケット 使えるところ」を作成した

【困っているところ（課題）】

- ・部会員は少しずつ減少している
- ・周知の方法・機会は「きらり☆にしよど」が中心であるため、多様な周知の検討が必要
- ・登録説明会へ参加してくれるが、その後の参加につながらない
イメージが違う、近所に活動場所がない
- ・「ちょこ助チケット」の交換先が少なめ
 - ↳身近な利用先の拡充が課題

【今後していきたいこと（展望）】

- ・部会員の募集
- ・地域のふれあい喫茶等で、「ちょこ助チケット」を使用できるようにしたい
 - ↳地域での「ちょこ助」の認知度UP
- ・「ちょこ助チケット使用可能 ステッカー」を作成し、店頭等に貼付してもらいたい

(3) 「ステキな♡となりのお節介さん」部会・・・C部会長

- ・地域でさまざまな人と日常的に関わり、情報収集や発信などを行っている方、人知れず地道に活動している方が多くいる。その方々を「すてきな♡となりのお節介さん」として認定し、西淀川区全体が“ステキなお節介さん”であふれるまちとなるよう働きかけることを目標とする
- ・部会では、認定会、認定バッジのお渡し、インタビュー、「お節介さんだより」の発行、周知活動（ボランティアエキスポ、区民まつり等）を行っている

【よいところ（成果）】

- ・地域で人知れず活動している人を発掘することができた
- ・同じような活動をしている仲間が数珠つなぎで広がった
- ・交流会を開催したことで、認定者が今後の活動へのモチベーションにつながった
- ・「お節介さんだより」を見て、活動をするきっかけになった方がおられたり、人知れず活動している方の活動のモチベーションになった

【困っているところ（課題）】

- ・「お節介さん」に興味を持ってもらうことが難しく、推薦につながらない
- ・推薦数が少なく、認定会があまり開催できていない
- ・部会メンバーが増えない

【今後していきたいこと（展望）】

- ・周知に力を入れる（きらりにしよど、個別の声掛け）
↳推薦につなげる
- ・部会メンバーを増やす
- ・認定者交流会の開催

(4) 企画会議・・・委員長代理

- ・策定委員を中心におよそ2カ月毎に開催している
- ・区民の方々にプランの理念や基本目標等の理解を進めるための具体的な活動展開の方法を検討している
- ・通常は計画を策定して終わりになりがちだが、企画会議で広報動画の作成や広報委員会の立ち上げの検討等している
↳広報委員会では、子ども向けの冊子・動画の作成等検討できるとよい
- ・コロナ禍のため前計画（西淀川ささえあいあいプラン）で推進が難しかった「福祉語ろう会」を推進し、各地域で地域福祉を知ってもらい、「ちょこ助」、「お節介さん」を発掘したい

質疑・意見「ちょこ助チケットを1回使って終わりではなく、何度も繰り返し使用するのもよいのではないか。チケットを循環させると活動が広がり

面白い。また、チケット交換の仕組みについて、企業等から寄付いただく仕組みを作れると面白い。企業の社会貢献の方法を増やすのもよい。」

5 講評

鈴木助言者「手探りのなか、着実に実績が増えてきている。活動が積みあがるだけでなく、認知も進んで来ている」

6 承認

委員長「本日の議事について、拍手を持って承認したいと思います」
⇒承認

7 閉会あいさつ

松井保健福祉課長「活動で手に入れたちよこ助チケットで、ふくふくカフェにて友人にコーヒーをごちそうする等、循環となっている。今後、知名度を向上させることができればよい。委員の皆さま、2年間ありがとうございました。」

8 その他

今後の予定を伝え終了